

「みなとオアシスひらら」 「みなとオアシスいしがき」が 新規登録されました

No.8

みなとオアシスとは？

国土交通省港湾局では、地域住民の交流や観光振興を通じた地域活性化に資する「みなと」を核としたまちづくりを促進するため、住民参加による地域振興の取り組みが継続的に行われている施設を「みなとオアシス」として登録しており、平成15年からこれまでに115箇所の施設が登録され、地域の活性化に寄与しています。（平成30年7月16日現在）

「みなとオアシス」に登録されると

みなとオアシス標章の使用や国土交通省、沖縄総合事務局のホームページでの情報発信などの広報支援を受けることができます。また、みなとオアシスを構成する港湾施設を整備する場合は社会資本整備交付金の優先的な配分やインバンドに対応した施設の場合には観光庁の訪日外国人旅行者受入基盤整備事業などの補助メニューも用意されています。さらには、みなとオアシス全国協議会へ加入することができ、全国のみなとオアシスと連携した取り組みが可能となり、「みなとオアシスSea級グルメ全国大会」への参加など全国規模の催しで地元のみなとをPRし、地域活性化の取り組みとしても活用が可能となります。

みなとオアシスが担う役割

- ・地域住民、観光客、クルーズ旅客などの交流及び休憩機能
- ・地域の観光及び交通に関する情報提供機能
- ・その他（災害時の支援、商業機能）

みなとオアシスの構成施設

- ・旅客ターミナル・地元産品の販売

飲食店・文化交流施設など

「みなとオアシスの設置者・運営者

- ・地方公共団体（港湾管理者含む）やNPO団体、協議会など



標章
(シンボルマーク)

※「みなとオアシス」の関連情報については下記URLからもご覧いただけます。

- ・国土交通省港湾局HP
http://www.mlit.go.jp/kowan/kowan_tk1_000001.html
- ・一般社団法人ウォーターフロント協会HP
<http://www.waterfront.or.jp/oasisu/index.html>

この度「平良港マリナーターミナル」を代表施設とする「みなとオアシスひらら」が全国116箇所目、「ユエグレナ石垣港離島ターミナル」を代表施設とする「みなとオアシスいしがき」が全国117箇所目の「みなとオアシス」として国土交通省港湾局長が登録し、活動を開始することになりました。2017年クルーズ船寄港回数が132回で全国第5位（石垣港）、同じく130回で第6位（平良港）と上位にランキングし、ますます賑わいを見せる両港において、地域住民の交流促進や観光の拠点として、今後も「みなと」を核としたまちづくりを推進します。

「みなとオアシスひらら」の紹介



「みなとオアシスひらら」は平成5年6月に宮古島市によって整備された「平良港マリナーターミナル」を代表施設

とし、宮古島市各方面への路線バスの結節点となっているほか、沖泊寄港のクルーズ船のテンドーボートが浮き桟橋を利用して上陸する場所となっており、臨時CIQ（税関・出入国管理・検疫）手続きや観光案内、おもてなしイベントが行われるなど、クルーズ観光の拠点にもなっています。施設周辺は無料WiFiスポットが整備され、旅客の満足度向上につながっています。毎年夏に開催される「平良港みなどフェスタ」は多くの人々で賑わうなど、市民と観光客の交流拠点、情報発信拠点としての機能を有しています。

また、「みなとオアシスひらら」の構成施設である「パイナガビーチ」は「平良港マリナーターミナル」から徒歩5分程度に位置し、宮古島のビーチの中でも最も市街地に近いため、多くの人々に利用されており、毎年6月（旧暦5月4日）には航海安全と豊漁を祈願する伝統行事「ハーリー（海神祭）」が開催され、地元住民や観光客の交流拠点として親しまれています。



▲代表施設：平良港マリナーターミナル



▲構成施設：パイナガビーチ

◎登録証交付式

7月15日に開催された「平良港みなどフェスタ2018」において、島尻安伊子沖縄担当大臣補佐官、儀間光男参議院議員ら多くのご来賓参加のもと、みなとオアシス登録証の

交付式が行われまし

た。

式では、登録者である国土交通省港湾局長に代わり中島靖内閣府



▲中島靖内閣府副大臣から下地敏彦市長へ登録証を交付

沖繩総合事務局開発建設部長から下地敏彦宮古島市長へ登録証が交付されました。交付を受けた下地市長は、登録に対して感謝の意を述べるとともに、今回の登録を励みに、今後見込まれるクルーズ需要にしっかりと対応できるよう関係機関と協力して取り組んでまいります。

また、来賓として祝辞を述べた島尻安伊子大臣補佐官から「今回の登録は平良港周辺と一体化したまちづくりを進める契機となり、宮古島の観光振興や地域活性化の拠点として平良港が大きな役割を担っていくことが、今後ますます期待されます。内閣府として引き続き、ハード・ソフト両面から積極的に支援してまいります」とのお言葉がありました。

交付式ではアトラクションとして地元竹の子保育園の園児が元気いっぱいの花を舞で式に花を添え、関係者による記念撮影が行われました。また、同日開催された「みなとフェスタ2018」では海上巡視



▲設置者として挨拶する下地敏彦市長
左上 / 来賓祝辞を述べる儀間光男参議院議員
左下 / 来賓祝辞を述べる島尻安伊子大臣補佐官

